快適空間で宿のイメージアップ

日野自動車

小型送迎バス「日野リエッセⅡ」

天悠で活躍する「日野リエッセⅡ」。送迎に欠かせない

ユーザーリポート

お客さまの満足感 高める最適の車両

公共交通機関を利用する旅行者にとって気にかかるのが到着地から旅館・ホテルまでどう行くかだ。重い荷物を抱えて歩くのはしんどく、バスやタクシーを使うのも躊躇する。そこで頼りになるのが宿の送迎バスだ。宿にとってはお客さまと最初に接するシーンとなるだけに、手入れが行き届いていないバスは宿のイメージ悪化につながりかねない。日野自動車（東京都日野市）の小型バス「日野リエッセⅡ」はお客さまの満足感を高め、宿のイメージアップに役立つ最適の車両だ。

箱根小涌園天悠

日野自動車は小型バス「リエッセⅡ」を改良し、昨年7月発売した。

「リエッセⅡ」は17年1月のモデルチェンジで全幅と全高を拡大することで室内空間に一段とゆとりを持たせたほか、最上級タイプの「EX」（29人乗り）にはハイグレードなシート表皮を採用し、高級感を醸し出すなど、快適な空間を演出し多くのお客さまから高評価を得ていた。

そして、今回の改良では、停止障害物に対しても衝突回避を支援する衝突被害軽減ブレーキ（PCS）や車線逸脱警報、オートマチックハイビームといった先進安全機能を標準装備し、クラストップレベルの安全性を実現している。

日野自動車の望月裕貴・バス部営業支援室長は「ゆとりのある車内で心地のいい移動時間を過ごしてもらえる」と自信を示す。こうした特徴を持つ「リエッセⅡ」は旅館・ホテルの送迎バスに数多く利用され、高い評価を得ている。

「リエッセⅡ」のユーザーが、藤田観光が2017年4月にオープンした「箱根小涌園天悠」（神奈川県箱根町）だ。

天悠は150ある客室全てに温泉露天風呂を備える、高級感あふれる旅館。5、6階の大浴場からは外輪山をはじめとする箱根の絶景が望める。旅館としては珍しいコンシェルジュも配置。各種の手配はもちろん、顧客のニーズに合わせたアクティビティ体験や周辺のお薦めスポットなどを案内する。

「リエッセⅡ」はその天悠でお客さまの送迎に利用されている。取材した天悠支配人の恩田豊さん、ユネッサン運営課長の辰輝晶さんのお二方とも「リエッセⅡ」の性能を高く評価。特に、広い室内空間や運転のしやすさに満足の様子で、「送迎という接客サービスに欠かせない」と強調している。

ユーザーの声

ドライバーの負担を軽減

箱根小涌園ユネッサン運営課長 辰 輝晶さん

送迎バスは現在5台あり、うち2台が日野自動車の「リエッセⅡ」で、巡回シャトルバスとして天悠とユネッサン、箱根登山鉄道の強羅駅間を運行しています。

30分サイクルで、天悠―強羅駅間は約15分の距離です。

「リエッセⅡ」は死角が少なく、安全確保が非常にとりやすい車です。これはドライバー共通の意見で、お客さまにご利用いただく上でとても大事な要素であり、満足しています。

箱根の道路は坂やカーブが多く、ドライバーも神経を使います。ハンドル操作もしやすく、自分が思うようなラインがとれます。心強いですね。

「リエッセⅡ」は広い居住空間が特徴ですが確かにそう思います。お客さまに窮屈な思いはさせたくありません。わずか15分の距離ですが、快適に過ごしていただく上で、広い空間は有難いですね。シートの座り心地もいい。室内空間が広いということは荷物もたくさん置けるということです。

外国人のお客さまは荷物も多いので、余裕をもって置けます。

送迎バスはお客さまと最初に接するところです。ここで嫌な思いをされると旅館のイメージそのものが悪くなってしまいます。「リエッセⅡ」は接客の最前線という認識で使用しています。

乗り心地良く、広い空間

箱根小涌園天悠支配人 恩田 豊さん

箱根小涌園天悠は2017年4月にオープンしました。コンセプトは「自然と和のおもてなし」で、150ある客室全てに設楽焼の温泉露天風呂を設けているのが大きな特徴です。

日本人のお客さまについてはカップルやヤングファミリー層を中心に、主に誕生日やお祝い事など記念日での利用が多いです。

また、外国人のお客さまは全体の3～4割を占め、欧米豪のお客さまが増えています。

お客さまの送迎（巡回シャトル）はこれまで、箱根小涌園ユネッサンや美山楓林などの園内周遊が中心でしたが、17年4月の天悠オープンを受け、箱根登山鉄道の強羅駅までエリアを拡大しました。

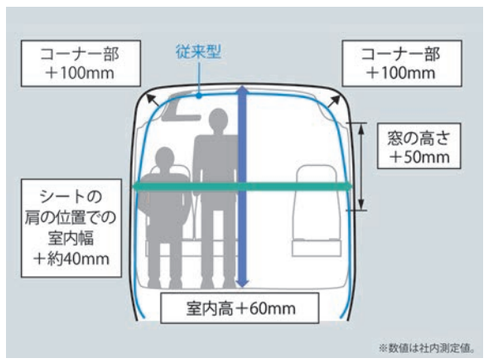
お客さまのご負担を少しでも軽くするのは当然であり、送迎はサービスの一環として欠かせません。

「リエッセⅡ」は乗り心地が良く、室内空間も広い。お客さまがストレスを感じることなく乗れるバスだと思います。寛いだ気分で乗車いただき宿に入ってもらえる。とても満足しています。

他の温泉地と比べ、箱根は坂道やカーブが多く、運転には神経を使う道路ですが、「リエッセⅡ」に対するドライバーの評価は高く、「くせのない運転しやすいバス」と聞いています。安心・安全な車は宿にとって極めて重要で、「リエッセⅡ」の性能は高く評価しています。

新次元の移動空間実現

ゆとりの客室空間



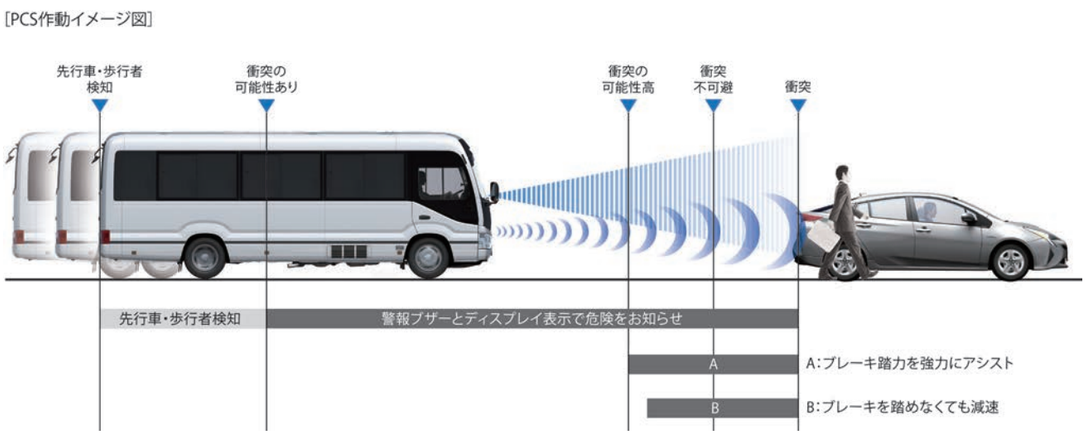
「リエッセⅡ」は快適さの質を細部まで追求している。日野自動車は「いっそう広く、ゆとりに満ちた『おもてなし空間』を提供する」と強調。

車両の全幅と全高の拡大によって、室内空間もシートの肩の位置で室内幅40ミリ、室内高は60ミリサイズアップ。窓の間口も広げた。「お乗りになる全ての方が心地よい移動時間をお過ごしできる」という。

ハイバックシート（客席、助手席）は余裕のあるサイズによって体全体を受け止めるよう、背もたれとヘッドレスを一体化したシートに。

オートエアコンには均一な暖房を実現するリヤヒーター、雨の日の窓の曇りを抑えるリヒート機構などを採用。広い室内をさわやかな空気と最適な室内温度で満たす。

三つの先進安全機能



「リエッセⅡ」は三つの先進安全機能を標準装備してさらに安全・安心を徹底した」と日野自動車。クラストップレベルの安全性を実現し、ドライバーの負担軽減に大きく寄与している。

その一つが「衝突被害軽減ブレーキ」（PCS＝プリクラッシュセーフティシステム）だ。前方の車両や歩行者をミリ波レーダーと単独カメラで検出。警報ブザーとディスプレイ表示で衝突の可能性を知らせ、衝突回避や被害軽減をサポートする。

「車線逸脱警報」は、道路上の白線（黄線）を単独カメラで認識し、ドライバーがウインカー操作を行わずに車線を逸脱する可能性がある場合、ブザーとディスプレイ表示による警報で知らせてくれる。

また、車両のふらつきを探知して、ブザーおよびディスプレイの表示により、休憩を促してくれる。

「オートマチックハイビーム」は、ハイビームとロービームを自動で切り替え、夜間の歩行者などをいち早く発見できるようサポートする。切り替え忘れを防ぐほか、手動操作の煩わしさも軽減され、運転に集中できる。

より安全な送迎をサポートする、新しい3つの先進安全機能。

PCS※1（プリクラッシュセーフティシステム）
前方の車両や歩行者を、ミリ波レーダーと単眼カメラで検出。衝突回避※2または被害軽減をサポートします。

車線逸脱警報
ドライバーがウインカー操作を行わずに車線を逸脱する可能性がある場合、警報でお知らせします。

オートマチックハイビーム
ハイビームとロービームを自動で切り替え、夜間の歩行者などの早期発見をサポートします。

■道路状況、車両状況、天候状態および操作状態などによっては、システムが正しく作動しない場合があります。■PCS、車線逸脱警報、オートマチックハイビームは、あくまで運転を支援する機能です。■システムを過信せず、安全運転を心がけてください。■詳しくはWeb又は店頭で。

安全・安心をさらに徹底 日野リエッセⅡ

Photo：EX・ロングボデー車（29人乗り）。
※1."PCS"はトヨタ自動車(株)の商標です。　※2.対車両の場合。

日野リエッセⅡラインアップ

EX	ロングボデー車	29人乗り
		24人乗り
GX	ロングボデー車	29人乗り
		24人乗り
	ショートボデー車	25人乗り
LX	ロングボデー車	29人乗り
		24人乗り
	ショートボデー車	25人乗り

24人乗りの荷物スペース

HINO LIÉSSE Ⅱ

日野自動車株式会社　本掲載に関するお問い合わせは、お近くの販売会社営業スタッフまたは弊社「お客様相談窓口」へ。　www.hino.co.jp
お客様相談窓口　フリーダイヤル:0120-106-558　受付時間:月曜日～金曜日9:00～12:00、13:00～17:00（弊社の休日を除く）